

復員の実態を知る

基本史料の決定版

◆編集◆

浜井和史

外務省外交史料館

# 復員関係 史料集成

全12巻

ゆまに  
書房 YUMANI  
SHOBUN

●第1巻●支那派遣軍復員本部の歴史

(中国派遣軍残務整理部・昭和二年二月)  
日本の敗戦をうけて中国派遣軍の復員事業に伴い設置された復員本部の業務を記録した史料である。また付録には復員本部関係史料が含まれている。

はしがき

第二章 大陸に於ける開設準備

第三章 内地展開

第四章 派遣軍直轄機関としての業務実施

第五章 内地復員官署への統合

第六章 西部復員連絡局直轄機関としての業務実施 其の一

第七章 派遣軍の復員状況

第八章 西部復員連絡局直轄機関としての業務実施 其の二

第九章 留守業務局直轄機関としての業務実施 復員本部のあゆみ

附録

序／第一 重要時期に於ける復員本部の職員表／第十 復員完結日一覧表

●第2巻●支那派遣軍復員規定

(総参一第一五三〇号) 附復員業務の参考

(支那派遣軍総司令部・昭和二年一月二六日)  
(支那派遣軍復員本部・昭和二年一月)

昭和二年十月二六日付総参一第一五三〇号  
支那派遣軍復員規定改正一件及び支那派遣軍復員本部の業務関係書類である。

一 支那派遣軍復員規定改正の件  
〔支那派遣軍復員規定〕

第一章 総則／第二章 乗船前ニ於ケル復員業務／第三章 乗船後ニ於ケル復員業務／第四章 上陸地ニ於ケル復員業務／第五章 人員ノ処理／第六章 經理／第七章 衛生／第八章 雑則／其他付表等

〔復員業務ノ参考〕

緒言／第一章 復員一般ノ要領／第二章 乗船

●第3巻●支那派遣軍終戦に関する

交渉記録綴

(厚生省引揚援護局史料室・昭和三年二月)

日本の敗戦に伴う中国派遣軍及びその関連施設や中国人俘虜等の処遇についての中国当局者との折衝に関する史料である。また南進してきた連軍の状況を伝える史料も含まれる。

第一 終戦交渉会談録

其一 芷江会談 第一次／其二 第一次会談時に於ける細部連絡事項／其三 芷江会談 第二次／其四 芷江会談 第三次／其五 第三次会談の際に於ける何総司令の口述命令／其六 今井少将・冷欣主任会談／其七 岡村大将・冷欣主任会談／其八 岡村・冷欣会談時、支那側の要求せる調査要目／其九 岡村大将・冷欣主任会談／其一〇 岡村大将・何応欽会談

第二 支那派遣軍 中国陸軍総司令部間  
終戦交渉に関する往復文書綴

一 終戦直後より降伏式迄の間に於ける中国陸軍総司令部の覚書(発簡冠詞一申字) 並之に對する日本側の回答 其他日本軍よりの申入れ 拔萃／二 中国陸軍の南京先遣機関設定より降伏式迄の間に於ける同先遣機関の覚書(発簡冠詞一國字) 並之に對する日本側の回答 拔萃／三 降伏式後に於ける派遣軍全般に對する基本命令(発簡冠詞一軍字) 拔萃／四 降伏式後に於ける派遣軍全般に對する訓令(発簡冠詞一軍補字) 拔萃／五 降伏式後に於ける日本軍民に對する管理要領、日本軍の動向に関する申入れ等を含む総司令部訓令(発

●第4巻●支那関係復員処理に関する記録綴

(厚生省引揚援護局史料室・昭和三年二月)

中国派遣軍総司令部涉外日誌に掲載された会談録や各種申請・報告書並びに復員処理に関する重要電報史料が纏められている。

第一 支那派遣軍総司令部涉外日誌の抜粋

第二 支那派遣軍の復員処理に関する電報綴抜粋

第三 支那派遣軍復員本部の歴史

第四 支那派遣軍総司令部命令(総作命甲)綴の抜粋

●第5巻●支那派遣軍に関する兵団長・幕僚の手記綴

(厚生省引揚援護局史料室・昭和三年二月)

総参謀副長の今井武夫や陸軍参謀であった宮崎舜市等、中国派遣軍の上層部やその他各方面軍関係者等による復員の状況を記した手記である。

第一 支那派遣軍復員前後の概況(全文)

第二 支那派遣軍の終戦並復員概況(全文)

第三 終戦時に於ける北支方面軍司令官の処置(北支)

第四 終戦後の北支軍(北支)

簡冠詞一誠字、一部総輝京字)／六 中国の對日本軍民政策に関する訓令(発簡冠詞一政字)／七 徵用日軍の処遇に関する訓令(発簡冠詞一健字)／八 經理に関する訓令(発簡冠詞一理字)／九 徵用將兵取扱に関する日軍の申請並之に對する中国側の回答(発簡冠詞一人字)／一〇 中国陸軍総司令部布告の抜萃(発簡冠詞一法字)

参考資料及附録

参考資料 其一 派遣軍の和平直後の對支処理要綱(総参三第三百八号)／附録 其一 八月十五日に於ける蒋介石氏の放送演説

北支那方面軍司令官根本博

北支那方面軍参謀長 高橋坦

第六方面軍参謀長(武漢及湖南地区) 第六方面軍参謀長 中山貞武

第十方面軍参謀 西浦節三

同安藤 正

第一軍参謀 伊藤一朗

上海集中營(上海) 第十三軍参謀 笹井寛一

第二十軍復員史資料(中支) 第二十三軍参謀 山津善九郎

第二十三軍参謀 石母田武

第六十一師團の復員資料(上海)

第六十九師團長の終戦資料(嘉定)

第六十四師團の復員資料(山西・臨汾)

第一百二十九師團復員員末記

終戦前後に於ける戦車第三師團の概況

戦車第三師團長 山路秀男

終戦時に於ける日本軍の価値

混成第八旅團長 竹内安守

最終段階の上海派遣隊の概況

派遣班長(支那派遣軍獣医部長) 田垣住雄

●第6巻●南方軍復員史

(厚生省引揚援護局史料室・昭和三年一月)

陸軍南方軍の終戦経緯から復員が完了するまでの関係史料である。また付録には本編を補完する関連資料が多数収録されている。

第一 終戦の経緯

第二 軍秩の維持及軍法会議

第三 終戦後約半年間に於ける治安概況  
第四 終戦後約半年間に於ける兵器及馬事の概況  
第五 終戦後約半年間に於ける経理の概況  
其一金銭資金の關係事項／其二給養關係事項／其三被服關係事項／其四宿營施設關係事項

第六 終戦後約半年間に於ける衛生

第七 留守業務準備

第八 勞務発動と作業隊残留

第九 政務

第十 總司令部移動後の対連合軍交渉及其他重要事項

第十一 復員の為の準備

第十二 第一期復員輸送

第十三 第二期復員輸送

第十四 戦争裁判の概況

第十五 南方軍の引揚迄の間に於ける主要行事の概要

### ●第7巻・第8巻●南方軍復員史別冊

(厚生省引揚援護局史料室 昭和三年一〇月)  
本巻は第六巻本編の補充史料や、南方の現況を伝える關係並びに調査史料である。

第一 參謀長會議議事録

第二 ジャワ地区の治安並立運動に関する資料

第三 スマトラ地区の独立運動に関する資料

第四 1 昭和二十一年二月に於ける状況報告綴  
2 昭和二十一年七月に於ける状況報告綴

第五 作業隊残留に関する経緯

第六 南方軍残務整理部史

### ●第9巻●復員日記 (美山要蔵・昭和三年)

陸軍省高級副官美山要蔵による、敗戦間際の八月一〇日から十二月三日までの日記から復員關係にまつわる内容を摘録した史料である。

### ●第10巻・第11巻●復員史 (美山要蔵)

「復員史」編纂のための陸軍省高級副官美山要蔵による草稿並びに編纂史料である。

一 復員史研究の構想案

一 「復員史」編纂作業並びに準備関連資料

一 「復員史」草稿

一 元帝陸海軍史編纂関連資料  
一 「復員史」編纂状況報告書  
一 復員史資料蒐集リスト

### ●第12巻●復員に関する記録

(河辺正三・昭和三〇年一月)

元陸軍大将河辺正三の終戦直後から二〇年一月一日に至る間の個人身辺の日記から復員に關係した史料を摘録したものである。

其一 日記抄録

其二 残存書表類一部複写

一 航空總軍戦力概見表(略)／二 終戦の大詔発直後の航空總軍司令官の訓示／三 「今後將校の活くべき道」(冊子抄録)／四 陸軍航空本部の復員に方り本部職員に与ふる本部長訓示／五 第一總軍兵団部隊長(參謀長)一覽表(略)

### 【復員】戦時編制下にある軍隊

を平時体制へ復帰させること。  
特に第二次世界大戦終結に際して実施された日本の在外陸海軍部隊の帰還をさす場合もある。終戦時、国外にあつた約三五〇万人の軍人・軍属の帰還は、一般人の引揚とともに、ソ連管轄下の地域を除き一九四八年までにおおむね完了した。その実施は、戦後の複雑な国際關係の影響を受けたとされる。

### 第一章 大陸に於ける開設準備

復員を圓滑に實施するためには先づ廣地域に分散してゐる各部隊の復員に關する思想の統一が必要であつたので九月初頭支那派遣軍總司令官の名を以て復員規定を示達した  
是の規定は十月下旬改正せられたけれども派遣軍復員の基本規定となつて復員に關する觀念を派遣軍の一兵に至る迄徹底せしめた偉大なる効果があつた  
十一月に至り復員業務の參考書を配布して復員事務の根據を明にして規定の正確なる實行に資した外復員事務に關し所望の教育を施した指導將校を各乘船地に派遣した  
斯くの如く數下指揮下部隊の復員指導を實施しつつ復員本部は自體の運営並編成を研究整備して内地展開を準備したのであつた  
當時内地の状況は判明せず又派遣軍の上陸港すらも判明しなかつたやうな状況であつたので先づ本部を博多に出張所を二ヶ所(門司及下關)と豫想して編成に著手した として各方面より終戦後比較的餘裕の出

### ▼(右)「支那派遣軍復員本部の歴史」本文冒頭

▼(左)「支那派遣軍終戦に関する交渉記録綴」本文中

### 二、日 時

昭和二十年八月二十一日 HONJO-THEMO

### 三、会談要旨

「今井」 最初に我方より派遣軍の現状に就て説明す。

1 派遣軍は停戦に關する大本營命令を受領するや直ちに全軍に對し、停戦命令を下達し、自衛行動を除く戦闘を全部中止せり。爾來派遣軍は岡村總司令官閣下の統率確実なる掌握の下肅然と其の挙措進退を律しあり。

2 武器軍需品等は一切破壊焼却等を嚴禁し完全なる状態に於て之等を保管し、円滑に交付する如く準備せしめあり。

3 在華軍用及公用賭施設賭資材等は一切破壊焼却毀損を嚴禁し、完全に華側に譲渡する如く準備せしめあり。

4 然るに日本軍占拠地内の民情は各地に於て恐らく將委員長の命令を受けたるものにあらずる小部隊にして、或は日本軍の武装解除を要求し、或は日本軍占拠地の接收を要求す

# 復員関係史料集成

全12巻

[編集] 浜井和史 外務省外交史料館

A5判上製/函入

## 本書の特色

- 1945年の終戦直後に日本が直面した在外陸海軍部隊の復員問題について、復員業務の実務を担った部局や旧軍関係者による編纂資料を中心に、史料集成として復刻・刊行します。
- 本史料集の内容は、「支那派遣軍」や「南方軍」を中心に、終戦時に国外にあった軍隊が日本本土へ帰還するまでの経緯や復員の実態について包括的にまとめたものです。会議録や軍の電報類など数多くの公文書や当事者の回想などによって構成されており、その史料的価値は高いと考えられます。復員研究はこれから開拓が進むと考えられる分野であり、その基本史料を提供する本復刻版の刊行は、「大日本帝国」崩壊過程をめぐる諸問題について、本格的な研究環境を整える意味でも重要です。

## ●第1回配本 全5巻

揃定価92,400円(揃本体88,000円) ISBN978-4-8433-3289-4 C3321 2009年9月刊行

- ◆第1巻◆ 支那派遣軍復員本部の歴史 定価9,450円(本体9,000円) ISBN978-4-8433-3291-7 C3321
- ◆第2巻◆ 支那派遣軍復員規定(総参一第一五三〇号)附 復員業務の参考 定価12,600円(本体12,000円) ISBN978-4-8433-3292-4 C3321
- ◆第3巻◆ 支那派遣軍終戦に関する交渉記録綴 定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3293-1 C3321
- ◆第4巻◆ 支那関係復員処理に関する記録綴 定価22,050円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-3294-8 C3321
- ◆第5巻◆ 支那派遣軍に関する兵団長・幕僚の手記綴 定価27,300円(本体26,000円) ISBN978-4-8433-3295-5 C3321

## ●第2回配本 全7巻

揃定価117,600円(揃本体112,000円) ISBN978-4-8433-3290-0 C3321 2010年4月刊行予定

- ◆第6巻◆ 南方軍復員史 定価22,050円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-3296-2 C3321
- ◆第7巻◆ 南方軍復員史・別冊 上 定価13,650円(本体13,000円) ISBN978-4-8433-3297-9 C3321
- ◆第8巻◆ 南方軍復員史・別冊 下 定価18,900円(本体18,000円) ISBN978-4-8433-3298-6 C3321
- ◆第9巻◆ 復員日記 定価12,600円(本体12,000円) ISBN978-4-8433-3299-3 C3321
- ◆第10巻◆ 復員史 上 定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3300-6 C3321
- ◆第11巻◆ 復員史 下 定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3301-3 C3321
- ◆第12巻◆ 復員に関する記録/史料解題 定価8,400円(本体8,000円) ISBN978-4-8433-3302-0 C3321

\*収録史料は予定です。

■全12巻揃定価：210,000円(本体200,000円)

ISBN978-4-8433-3288-7 C3321



〒101-0047  
 東京都千代田区内神田2-7-6  
 TEL .03(5296)0491  
 FAX.03(5296)0493  
<http://www.yumani.co.jp/>  
 e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方● 政治史、軍事史、政軍関係史、アジア史、国際関係史、近現代史全般の研究者。大学および研究機関の図書館。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日		※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。	
ご注文書	復員関係史料集成 全12巻		取扱店
	<input type="checkbox"/> 第1回配本・全5巻	<input type="checkbox"/> 第2回配本・全7巻	
お名前			 09.09/01.7000.H
ご住所	TEL ( )		